

◆ たかさき

Takasaki City Assembly News

市議会だより

高崎市議会ホームページ

高崎市議会

検索



主な掲載内容

- 第1回定例会の概要…………… 2～3
- 総括質疑…………… 4
- 一般質問…………… 5～10
- 委員会審査…………… 11
- 議案等審議結果…………… 12

NO. **273**

2020.4.30

発行 高崎市議会

編集 広報委員会

高崎市高松町35番地1

TEL 027(321)1281

お堀端に咲く桜と市庁舎

令和2年第1回定例会

新年度予算を可決

令和2年第1回定例会は、下記の日程により23日間の会期で開かれました。

本定例会では、市長が新年度予算についての施政方針や概要を示し、これに対し各会派の代表者が総括質疑を行いました。財産の取得などの議案43件は、いずれも原案のとおり可決し、請願3件は不採択となりました。

また、副市長及び固定資産評価審査委員会委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

なお、23人の議員が市政に対し一般質問を行いました。

2/25(火)

議案上程、令和元年度議案の提案説明～議決、
市長施政方針 ほか

2/26(水)

令和2年度議案の提案説明

2/27(木)

総括質疑(*詳しい内容はP4)

2/28(金)、3/2(月)、3(火)、4(水)

一般質問(*詳しい内容はP5～10)

3/9(月)、10(火)、11(水)、12(木)

委員会審査(*詳しい内容はP11)

3/18(水)

付託された議案等の委員長報告～討論
～議決 ほか(*審議結果はP12)

今後も開発が進む高崎駅東口

本定例会で可決した主な議案

新年度予算〔主要事業〕

■高齢者等ごみ出し支援

7222万円

自身でのごみ出しが困難な高齢者世帯等を対象に、戸別訪問によるごみ収集を実施する。

■おとしよりぐるりんタクシーの運行

1億3508万円

高齢化率の高い倉渕・榛名・吉井地域で、乗り降り自由、予約不要、利用料無料の交通手段を整備する。

■高崎市民スポーツパーク(仮称)の整備

5600万円

多くの市民の健康増進に寄与するため、高崎市民ゴルフ場をさまざまなスポーツに親しむことのできる施設に改修する。

■商店等のリニューアル助成の拡充

3億5000万円

商店の店舗改装費用助成に加え、飲食店の衛生を目的としたリニューアル費用も助成する。

・まちなか商店リニューアル助成

3億円

・飲食店衛生向上リニューアル特別助成

5000万円

■高浜クリーンセンターの建設

60億7590万円

施設の建設やプラント設備工事を進める。

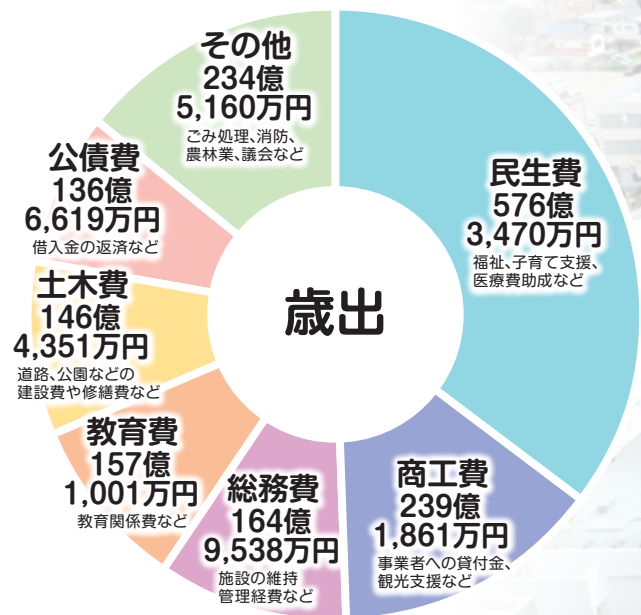
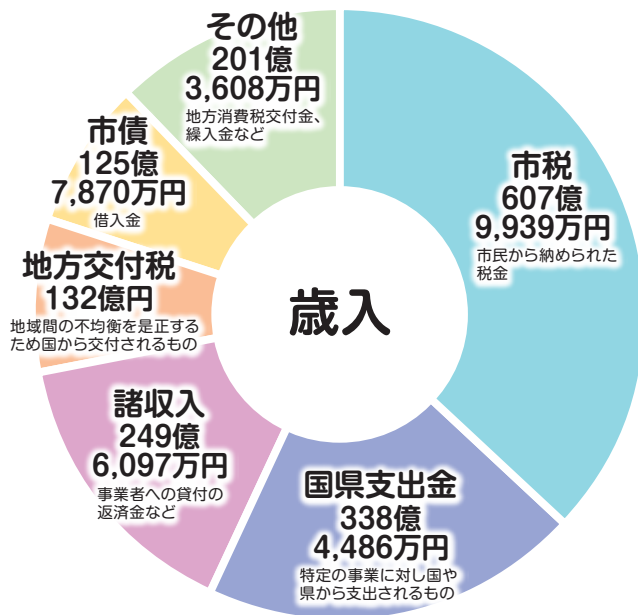
■職場環境改善を支援

1億円

市内事業所の従業員がより良い環境で働けるよう、事業所の遮断熱塗装や空調設備等の設置を支援する。

予算の概要

一般会計 1,655億2,000万円（前年度比1.6%減）



特別会計 762億3,137万円（前年度比0.2%増）
 水道事業会計 105億9,286万円（前年度比0.1%増）
 公共下水道事業会計 145億9,836万円（前年度比0.7%増）

災害対策車の購入

台風などの災害に備えるため、災害対策車を購入する。

- ・低水位型 1台
- ・標準型 1台

■契約金額 1億175万円

■契約相手方 株式会社第一テクノ群馬支店

小学校教師用指導書の購入

小学校の学習指導要領の改訂に伴い、教師用の指導書を1万478冊購入する。

■契約金額 1億1565万円

■契約相手方 群馬県教科書販売株式会社高崎営業所

高崎市無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

生計困難者のために無料または低額で、簡易住宅を貸し付けたり、宿泊所を提供する事業を行う施設に関する設備や運営の基準を定める。

■施行期日 令和2年4月1日

ただし、一部は令和4年4月1日

総括質疑

新年度予算や市長の施政方針に対する総括質疑の一部を掲載します。

新風会

石川 徹 議員

質疑 「新しい高崎」の実現に向け、令和2年度予算編成に当たり、どのような点を最も充実して取り組んだのか。

答弁 令和2年度も徹底した事業費の削減、重点事業の積極的な推進、人件費の圧縮の3つを基本方針に掲げ、市内経済の活性化と市民福祉の充実に向けた予算編成に取り組んだ。なお、これまで実施してきた各種ビジネス施策の効果もあり、経済状況は緩やかな回復基調にあると感じている。

また、新規施策として、高齢化率の高い倉渕、榛名、吉井地域で無料運行するおとしよりぐるりんタクシーや、ごみ出しが困難な高齢者世帯等のごみ収集を行う高齢者等ごみ出し支援事業など、高齢者福祉や子育て環境の改善に重点を置いた。

質疑

ICTを基盤とした

先進技術などの効果的な活用が求められているが、本市の取り組みは。

答弁 学習指導要領の改訂による小学校でのプログラミング教育の必修化に伴い、教員研修の充実と指導技術の向上を図っていく。

また、先端ICT教育協議会では金古小・上郊小・倉渕中学校をモデル校とし、大学と民間が共同して先端的な技術などの効果的な活用について取り組んでいる。引き続き実践的研究を進めながら、各学校におけるICT環境整備の充実を図りたいと考えている。



市民クラブ

林 恒徳 議員

質疑 本市の産業振興策として海外法人との連携を進めているが、ジェトロ群馬や高崎ものづくり海外フェア以外の事業の展開は。

答弁 本市では、シンガポ

ールに高崎トリニオンを設立し、販路開拓と農作物加工品の輸出促進を担う活動拠点を整備した。実績として現地の有名レストランに倉渕のミョウガ、ミシュランの三つ星レストランに榛名のジャンボ梨を納品した。

また、高崎トリニオンの営業活動により高級フルーツなどの販売が大盛況であった。今後、シンガポールで需要の少ない梅の販売にも挑戦していきたい。



公明党

逆瀬川 義久 議員

質疑 職員の障がい者雇用率と法定雇用率達成に向けた取り組みは。また、放課後等デイサービスの在り方は。

答弁 本市の障害者雇用率は、市長部局が2・09%、教育委員会が1・74%、上下水道事業が2・29%である。採用試験を正規職員のほか嘱託職員についても引き続き実施し、早期の法定雇用率の達成に努めている。また、障害児の放課後等

デイサービスの新規事業所が増えていることから、人材不足などの課題も認識しているため、事業所のサービスの質の確保と向上に努めたいと考えている。



請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

- 日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の採択について
- 加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求めることについて
- 18歳以下の子供の均等割減免、資格証明書の交付をなくして、すべての高崎市民が安心して医療が受診できるよう国民健康保険制度の改善を求めることについて

同意した人事案件

- 副市長 ひょうどう 兵藤 きみやす 公保 氏
- 固定資産評価審査委員会委員 はとり 羽鳥 たけひさ 武久 氏
- 人権擁護委員候補者 えばら 江原 あきひろ 章博 氏
- 人権擁護委員候補者 かめだ 亀田 しんや 慎也 氏

選挙された選挙管理委員及び補充員

- 選挙管理委員 まきのこういちろう 牧野耕一郎 氏
- すかわ ひろし 須川 浩 氏
- うえはらだいじろう 植原大二郎 氏
- たつの ときやす 田角 悦恭 氏
- 補充員 ふかさわ けいじ 深澤 啓二 氏
- いしだ むつよ 石田武津代 氏
- しまづ ひろこ 島津 弘子 氏
- はらさわ えいこ 原澤 英子 氏

一般質問



本因坊戦高崎対局の開催
獣医師会の活動
根岸 赴夫
(新風会)

質問 対局会場となった旧井上房一郎邸の準備状況は。

また関連イベントの開催は。

答弁 主催者側と調整を図りながらエアコンやトイレの整備、畳の敷設などを行い、対局の様子をインターネットでライブ配信するための機材も設置する予定である。また、大盤解説やプロ棋士による指導碁を高崎芸術劇場スタジオシアターで行うほか、子どもたちが気軽に参加できるような初心者向け囲碁教室などの開催も予定している。



おとしよりぐるりんタクシー
高崎駅西口バスターミナル
中島 輝男
(市民クラブ)

質問 高齢者の利便性向上につながる施策だが、特定地域の運行による不公平感が生じないよう有償運送の検討をしたのか。また、民間路線バスに対する配慮は。

答弁 有償運送とするには、運輸支局への登録が必要となり、さまざまな規制が生じる。そこで本市が求める柔軟で使いやすいサービスにするため、利用料を無料とした。また、ルート設定に当たり、バス停に接続さ

質問 本市の猫の不妊・去勢手術費補助制度の現状と効果は。

答弁 手術件数は毎年約1300件で、補助金額は雄が3千円、雌が5千円である。効果としては、屋外で放し飼いにされている猫が多いことから、手術により飼い主のいない猫を減らすとともに、マーキングによるふん尿被害が減少すると言われている。今後も事業の充実を図り、動物愛護精神の醸成に努めていく。



せるなど既存の公共交通の利用拡大にもつなげるよう事業者との打ち合わせも行い、理解を得ている。

質問 高崎駅西口バス乗り場において、バスの形態の変化により、乗車口と乗り場の点字ブロックがずれてしまったが、改修の予定は。

答弁 事業所の職場環境改善に向けた新たな支援制度の概要は。



中小企業支援
リニューアル助成の飲食店特別枠
後藤 彰
(新風会)

質問 工場や事務所の空調設備のほか、屋根などに高機能な遮断熱塗料を塗装する事業者に対し、500万円を上限に事業費の2分の1を補助する。年齢・性別を問わず快適に長く働ける職場づくりを広く浸透させ、若者が就職先として積極的環境の整備や離職防止にも

答弁 工場や事務所の空調設備のほか、屋根などに高機能な遮断熱塗料を塗装する事業者に対し、500万円を上限に事業費の2分の1を補助する。年齢・性別を問わず快適に長く働ける職場づくりを広く浸透させ、若者が就職先として積極的環境の整備や離職防止にも



飲食店の衛生面・向上支援

答弁 バス事業者に対し、バスの形態は違っても点字ブロックに合わせて停車するよう周知していく。視覚障害者を含め、利用者が安全に乗車できるよう最善の方法を検討し改修をしていきたい。



質問 飲食店衛生向上リニューアル特別助成事業のつなげたいと考えている。

質問 飲食店衛生向上リニューアル特別助成事業の



新型コロナウイルス感染症対策
空き家対策
三井 暢秀
(市民クラブ)

質問 感染症の長期化により、企業の負担が大きくなるが、市の支援は。

答弁 支援策として、売上の減少に対応するための緊急対策資金融資や使い道の幅広い小口資金融資などの低利の融資制度がある。

また、産業創造館に中小企業診断士による無料相談窓口を設置しており、資金調達に限らず、さまざまな経営課題について相談を受けている。今後も事業者が安定して経営を継続できるように支援していく。

概要と既存の商店リニューアル助成事業との違いは。

答弁 飲食店の衛生面・向上を支援するため、構造や設備などの改修費用の一部を助成する。具体的には厨房内の床や壁の補修、トイレの洋式化や排水溝の改修である。既存の助成事業を2回利用した飲食店も申請でき、補助率と補助限度額も同様とした。なお、食品衛生に関する研修会を受講した飲食店が対象である。



質問 放置された空き家は老朽化による倒壊のほか、自然災害による危険性もあるが、本市の対応は。

答弁 近隣から相談が寄せられた場合は、所有者に注意喚起をするともに、本市独自の空き家緊急総合対策事業を紹介し、解決に結びつけている。実際に災害が発生した場合は、関係部署と連携を図りながら、倒木の撤去や危険箇所の応急処置など、迅速な対応に努めている。



樋口哲郎
(新風会)



答弁 高崎交通安全協会での65歳以上の免許返納者は平成29年が968人、30年が1198人、令和元年は1512人となっている。

質問 免許返納者への支援となる、おとしよりぐるりんタクシーの概要は。

答弁 交通弱者に対する移動手段を確保するため、倉渕・榛名・吉井地域で乗り

榛名湖の魅力創出
(市民クラブ)



質問 児童相談所設置の背景とロードマップの作成は。

答弁
昨年10月に新設した

こども救援センター内に虐待対応担当と家庭支援担当を設置し、虐待対応の迅速化ときめ細かな家庭支援体制を構築した。また、令和2年度は企画担当を新設し、他市の児童相談所に職員を2名派遣するなど専門性の

降り自由の無料タクシーを
6月1日から運行予定であ
る。地域内の医療機関や商
業施設など生活に欠かせな
い場所を原則無休で、午前
9時から午後5時まで、30
〜40分間隔で巡回する。運
行車両は、車椅子対応で、
走行時には音を鳴らし、位
置情報システムを導入する
など利用者の利便性向上に
配慮する。これにより運転
免許証自主返納者の支援に
加え、高齢者の介
護予防にもつなげ
ていきたい。



育成と情報収集を行う。今後は、全体的な構想や設置までのロードマップについても検討していきたい。

質問 榛名湖アーティスト・レジデンスの事業内容と今後の榛名湖の展望は。

答弁 国内外からアーティストを迎え、宿泊施設の提供や創作活動を支援する。創作活動の表現ジャンルや

プロ・アマチュアを問わず大勢のアーティストが集う芸術文化の拠点としたい。
また、11月に始めた高崎フリーWi-Fiはイルミ

丸山 寛
(公明党)

質問 現在の長期休業期間を採用した時期と設定の根拠は。また夏休み期間の短縮などを再検討する考えは。

い機会であると捉えており
今後も意義あるものとなる
よう取り組んでいく。

質問 障がい者関係団体の

質問 障がい者関係団体の現状は。また団体の消滅が

期制に移行了した平成25年度からである。猛暑などの気候による悪条件からの回避や、学期の振り返りと新学期への準備期間として定めている。夏休みは家庭や地域において、普段学校ではできない体験をする特に良



夏休みを利用した英語合宿

ネーションフェスタで大勢の人に利用され導入の効果があつた。今後も新規事業を活用し集客につなげたい。



地震に対する備え
(新風会)



質問 本市の子ども食堂の現状は。

答弁 食事を満足に食べられない子どもたちに安価で食事を提供するだけでなく子どもの居場所として活用されている例もある。本市でも社会福祉法人やNPO法人などの団体が、ボランティアの協力を得ながら運営している。

質問 本市でも深谷断層帯

が存在し地震に対する備えが必要と考えるが、各家庭や地域での備えは。

答弁 これまでの大規模地

懸念されるが市の認識は。

答弁 本市には障害者関係団体が9団体あり、勉強会の開催や啓発活動などに取り組んでいる。また、親子後の対応には、地域におけるこれらの団体の役割が重要であるが、会員数の減少や高齢化が課題となっている。今後も団体の活動を支援するとともに、親子後の対策についてもしっかりと対応していきたい。



清水 明夫
(新風会)

震の人的被害の多くは、建物の倒壊や家具の転倒によるため、住宅の耐震化や家具の固定が大切である。また、最低3日分の食料や飲料水の備蓄、簡易トイレなど必要物資の確保をするよう啓発に努めている。

地域では、高齢者や障害者のような要配慮者の避難誘導、避難所運営組織の設置など、自主防災組織による大規模地震発生時の活動も想定した実行性のある訓練を促進している。





子どもの発達支援施策 高齢者の運転免許返納支援

谷川 留美子
(無所属)

質問 本市の発達障害児の早期発見に向けた取り組みと特性に応じた支援内容は。

答弁 こども発達支援センターでは、電話や来所相談のほか当センターの案内を配布している。また保育所、幼稚園、小・中学校を巡回しての相談や専門家による乳幼児発達相談も行っている。子どもの特性に合わせたホームトレーニングなど保護者の不安軽減に努めつつ療育機関につなげている。今後も切れ目のないサービスの提供に取り組みたい。

質問 おとしよりぐりんタクシーの無料化の経緯とルート設定の考え方は。また他の地域への拡充予定は。

答弁 道路運送法に基づき、有償の場合には運輸支局への登録が必要のため、利便性を考慮し無料とした。運行ルートは、地域内の医療機関や公共交通が不便な地域を回り、市街地や他の地域に接続できるように設定した。今後、他の地域への拡充は利用状況を検証しながら検討したい。



子育て環境の整備

青木 和也
(新風会)

質問 群馬地域における放課後児童クラブの受け入れ児童数の推移は。また施設の整備状況と今後の予定は。

答弁 利用児童数は、平成27年度が451人、28年度が464人、29年度が469人、30年度が519人、本年度が507人である。年々増加する児童に対応するため、施設整備や空き家

の利用に努めており、来年度も堤ケ岡小学校区に新たに1カ所の整備を予定している。引き続き地域の要望や利用児童数の推移等を踏まえ、適切に対応していく。

質問 生徒数の増加により想定される群馬南中学校の教室不足への対応は。

答弁 これまで、生徒数の推移を見ながら教室改修等



コミュニケーションボードの活用を

を実施してきたが、今後とも生徒数の増加が見込まれることから、令和2年度にプレハブ校舎を設置するための予算を計上している。今



中心市街地の騒音対策 障害を抱える人の図書館利用

荒木 征二
(市民クラブ)

質問 中心市街地の居住人口を増加させるための住環境整備として、カラオケ店など大音量を発生する店舗へ防音指導が必要と思われるが、市の取り組みは。

答弁 県の条例で、午後10時から午前6時までの許容限度音量を定めており、音響機器の使用は音が外に漏れない場合を除き、午後11時から午前6時まで禁止している。本市では、住民が

後も、子どもたちが安心して学習や学校生活に取り組めるよう、適切な施設整備に努めていく。



質問 さまざまな障害を抱える人の図書館利用を進めるための取り組みは。



心のバリアフリー施策 児童虐待防止対策

小野 聡子
(公明党)

質問 障がい者の特性を教職員が実体験することや学校行事にパラスポーツを取り入れる考えは。また、発達障がい啓発への取り組みは。

答弁 特別支援教育の充実を目指し、心のバリアフリー講義や体験型研修に向けて取り組みたい。また、群馬地域の小・中学校では居

るに当たっての課題は。

答弁 図書館は多様な人が集う場所であるという認識のもとに、中央図書館では読書バリアフリーや認知症についての企画展示などの啓発活動を行っている。また、発達障害など意思疎通が苦手な人のために独自のコミュニケーションボードを作成するなど、障害を抱えた人が気兼ねなく利用できる体制を整えている。



質問 児童虐待防止対策として、今後も啓発活動に努めたい。

答弁 保護者と面接を行い、毅然として改善を求める一方、生活上の問題や家庭環境を把握した上で再発防止に向け助言、指導する場合もある。継続的に家庭訪問を実施しながら、虐待が繰り返されないよう必要な支援につな





教育環境の整備

新保 克佳
(公明党)

質問 GIGAスクール構想を活用し、ICT環境の整備をさらに図ることが重要だと思うが、市の考えは。

答弁 本年度立ち上げた高崎先端ICT教育協議会において、大学や民間と共同して先端的な技術等の効果的な活用について実践的研究に取り組んでいる。引き続き研究を進め、その成果を踏まえるとともに、GIGAスクール構想の活用を視野に入れ、ICT環境の整備の充実を図っていく。



質問 校庭芝生化がもたらす効果は。また、県の補助制度を活用し、本市の芝生整備をすべきだが見解は。

答弁 芝生化により、校庭で遊ぶ機会の増加や環境への関心の向上などの効果がある。一方で、芝生管理の労力や予算の確保などが指摘されている。新聞報道によると、県は令和2年度に県内の2校をモデル校として選定し、市町村が実施する芝生整備の費用を補助する予定である。県からの情報収集に努め、検討したい。



中高年のひきこもり 野良猫対策としてのTNR活動支援

三島 久美子
(無所属)

質問 ひきこもりが長期化するなど介護など複数の問題を抱えるため、包括的かつ継続的な支援が必要となる。本市の相談支援体制の取り組みは。

答弁 国は市町村の取り組みむべき施策として、断らない相談体制、就労・居住・居場所の提供、住民同士が支え合う地域づくりの3点



質問 繁殖力の強い野良猫のふん尿被害などの対策としてTNR活動が有効な手段と考えられているが、支援の考えは。

答弁 TNR活動は、地域



自衛隊員による炊き出し



大規模災害への備え

大河原 吉明
(新風会)

質問 災害時の避難所における炊き出しなどの食料供給に対する市の考えは。

答弁 防災直後は各家庭や自主防災会などが備蓄した食料を充てるため、最低3日分の備蓄を推奨している。被災者に提供するパンやおにぎりは、協定事業者から調達し、困難な場合は県に要請する。また、炊き出しは、自衛隊や自主防災会をはじめ、赤十字奉仕団と高

住民の理解を得た上で手術後の餌やりやトイレの管理など、住民の協力が欠かせない取り組みであると認識している。本市では、猫の不妊・去勢手術費補助制度を継続するとともに、TNR活動の支援について研究をしたい。



HPVワクチン

白石 隆夫
(新風会)

質問 子宮頸がんの予防策であるHPVワクチン接種の経緯と本市での実績は。

答弁 HPVワクチンは感染予防に高い有効性が示されており、平成23年度に任意接種、25年に12歳、16歳の女性を対象とした定期接種に位置付けられ、接種費用は無料となった。しかし、接種後に健康被害の事例が報告され、国は定期接種に位置付けたまま、積極的勧奨の一時中止を勧告した。現在も明確な結論は得られていない。本市の接種実績

は、23年度は延べ1万3667件だったが、勧告後は2桁台になり、31年度は12月末で38件である。

質問 定期接種としての周知の仕方と今後の対応は。

答弁 対象者が安心してワクチンを接種するには、国が十分な検証を行い、健康被害との因果関係の解明が必要である。市では、ホームページなどを通じて、今後もワクチンの有効性とリスクの周知などに努めていきたい。



●GIGAスクール構想

●TNR活動

GIGAはGlobal and Innovation Gateway for Allの略語。児童・生徒向けの1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを整備する構想。

Trap Neuter Return の略語。捕獲後に不妊・去勢手術を行い、元の場所に戻すこと。



本市の防災対策

おさかべしんじ
長壁 真樹
(新風会)

質問 避難勧告発令の対象区域の設定方法は。また支所地域の防災無線の今後は。

答弁 国や県が定めた洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域などハザードマップに記載した影響範囲を参考に設定している。合併前に整備した防災行政無線は、令和4年12月以降使用不可となるが、運用が認められている当面の間、防災スピーカーと併用して防災情報の伝達に活用したい。

質問 普通運転免許で運転できる車両の総重量が引き

下げられたが、消防団車両の状況は。また、水防を含めた団員の安全対策は。

答弁 準中型免許の新設により、団員が使用している車両65台のうち、普通免許で運転可能な車両は12台となる。団員の負担を減らすため、今後は普通免許があれば誰でも運転できる消防ポンプ自動車を導入していく。また、団員の水害時の安全確保対策として救命胴衣を全分団に配備する予定である。



マイナンバーカード取得 くらぶちこども天文台 (公明党)

質問 マイナンバーカード申請機能付き証明写真機は市内に何カ所設置され、その周知の予定は。また、市庁舎に同様の写真機を設置する考えは。

答弁 市内にはマイナンバーカードを申請できる証明写真機が30カ所あるため、市ホームページからアクセスできるようにするなどの

工夫をして周知に努めたい。

また、本市で取り扱う各種申請における証明写真の要不要などを踏まえ、機器の設置という方法に限らず有効な方策を研究したい。

質問 くらぶちこども天文台の案内標識不足への対策と地域の活性化につながる施策は。

答弁 水沼公園と天文台ま

での道路沿いに固定式の案内標識を4カ所、簡易看板を6カ所、天文台入口には照明付きの看板を設置している。天文台と相馬川温泉



障害者福祉支援策 教職員の多忙化対策 (市民クラブ)

質問 親亡き後の知的障害者の生活環境の整備状況と入所施設などの数は。

答弁 知的障害のある子どもが親亡き後も支障なく生活できるよう、さまざまな障害福祉サービスが国により整備されている。在宅生活者には、ヘルパーが訪問して行う身体介護や就労に向けた訓練などがあり、在宅での生活が困難な人には、入所施設やグループホーム

の宿泊をパックにした親子ツアーを実施するなど豊かな自然の魅力を市内外に発信し活性化を図っている。



も障害者やその家族が安心して暮らせるよう、適切な支援に努めていく。

質問 給特法の改正を受けて策定する本市のガイドラインの進捗状況は。

答弁 国や県の指針やガイドラインを踏まえ、令和2年2月に、高崎市立学校の教育職員の勤務時間の上限に関する指針を策定し、令和2年度からの運用に向けて準備を進めている。



国民健康保険の基金 有害スラッグの撤去 (日本共産党)

質問 国民健康保険の基金総額約48億円を加入者の負担軽減のために使用する考えは。

答弁 本市では制度改革により県が財政主体となった後も、県の示す標準保険税率を用いず、負担の少ない現行税率を採用している。そのため、毎年財源に不足が生じており令和2年度は、基金から約7億7200万円を繰り入れる予定である。現行税率を維持し、被保険者の負担軽減のために基金を活用している。

質問 民家の庭に使用された有害スラッグ撤去の進捗状況は。また、危険な産業廃棄物として関係企業に全面撤去を求める考えは。

答弁 有害物質を含む路盤材の使用は83カ所であり、約50%の撤去作業が完了している。現在、報告徴収等で得られた資料について県と連携して産業廃棄物の該当性も含め、精査している。違反する事実があれば、法令に従い、適切に対応していきたいと考えている。



障害者の生活を支援するガイドブック



高崎HANABIコンクール

まるやまよしのり
丸山 芳典
(新風会)

質問 倉淵地域で開催に至った経緯とその成果は。

答弁 くらぶち夏祭りの打ち上げ花火が大変好評なことから冬の時期の実施に向け研究を重ね、全国初の40歳以下の若手花火師によるコンクールを開催した。

約1万人の来場者を迎え、SNSなどに感謝や感動の書き込みと来年度の開催を望む声が約200件寄せられた。会場となった道の駅くらぶち小栗の里の認知度も高まり、交流人口の増加にも一定の効果があった。

質問 開催を通じての課題と来年度の開催予定は。

答弁 千台を超える駐車場と会場を結ぶシャトルバスを運行したが、想定以上の来場者とアクセス道路が国道406号線のみであることから交通渋滞が発生した。

本コンクールは、地域振興の起爆剤に十分なり得ると考えている。今後、交通渋滞などの課題を解消するための研究を重ね、来年度も冬の時期に開催したい。



英語教育事業

いとうあつひろ
伊藤 敦博
(日本共産党)

質問 4技能テストに民間であるGTECを選択し、任意受検から全員受検に変更した理由は。また、費用と受検者数の状況は。

答弁 GTECは中学生が英語を使う場面を想定した問題となっており、生徒にとって取り組みやすいという特徴がある。平成30年度に市内4校で先行実施した



結果、生徒が自己の英語力を把握し、今後の学習に生かすことが見込まれたため、対象を中学2年生とした。受検料は一人当たり4700円で、令和2年1月に約3千人が受検した。

質問 加齢性難聴者に対する補聴器の購入補助制度の創設の考えは。

答弁 聴覚障害による身体



買い物困難な高齢者等への移動販売

質問 高齢者対策として、本市の生活支援体制整備事業の進捗状況と特徴は。

答弁 お互いさまで支え合う基盤を作るための場として、協議体という仕組みを地域に設置し、互助を基盤とした体制整備を推進している。本市の特徴として、市内全域の日常生活圏ごとに26カ所の第2層協議体が発足しており、困りごとの解決を目標に、地域の状況



地域の支え合い活動

かたかいけいいちろう
片貝 喜一郎
(新風会)

障害者手帳を持つ人に対し、補聴器の購入費用の一部を支給している。補助基準額は3万4千円から13万7千円で、本人負担は原則1割

となる。加齢性難聴者が日常生活を過ごしやすくなるよう、制度について周知、啓発を図っていきたい。



に合わせた支え合い活動を行っている。

質問 協議体から生まれた支え合いの活動と課題は。

答弁 高齢者の買い物支援

や見守り、除草作業などの生活支援が行われている。また、協議体の話し合いにより、買い物困難地域に移動販売車を手配した所もある。今後の課題として、新たな参加者を増やすなど地域の協力が必要であるため、区長や民生委員に対し、活動への理解を得る説明会を開催したり、地域のイベントなどで周知活動を行うことを予定している。



市議会の予定

5月		
19日(火)	午後1時	臨時会
6月		
10日(水)	午後1時	開会、会期の決定、議案の提案説明など
11日(木)	午後1時	一般質問
12日(金)		
15日(月)		
16日(火)		
18日(木)	午前10時	総務常任委員会
	午後1時30分	教育福祉常任委員会
19日(金)	午前10時	市民経済常任委員会
	午後1時30分	建設水道常任委員会
24日(水)	午後1時	委員長報告、提出議案等の議決、閉会



●GTEC

Global Test of English Communicationの略語。ベネッセコーポレーションが実施している英語4技能検定。

●協議体

地域住民をはじめとする地域の関係者で構成され、多様な生活支援サービスの提供体制の構築を推進する団体。市全域で活動する第1層協議体と日常生活圏域で活動する第2層協議体がある。

委員会審査

各常任委員会および各特別委員会において、付託された議案などを審査しました。

質疑・答弁の一部を掲載します。

総務常任委員会

質疑 コンプライアンス室の設置目的と経費の内容は。

答弁 職員が事務を公正に実施していくために設置した。経費は、法令遵守の意識啓発に向けた職員研修等の開催経費や弁護士への法律相談委託料、そのほか事務的な管理経費などである。

質疑 災害対策車の運営管理を委託した理由は。

答弁 災害時には機械の操作や現場での安全管理などいろいろな業務があり、1台当たり7人の作業員が必要である。管理経費や日々の点検業務も合わせて、総合的な判断の中で業務委託とした。

教育福祉常任委員会

質疑 小児慢性特定疾病児童等特別助成扶助費の対象者とその内容は。

答弁 小児慢性特定疾病の重症患者認定または人工呼吸器装着認定を受けている子どもとその家族が対象である。テーマパークなどの入場料金や施設の駐車料金を助成するもので、助成額は年度当たり10万円を上限とする。

質疑 給食室空調設備設置工事の予定は。

答弁 夏休み期間中に、小学校2校と中学校1校の工事を行う予定である。

市民経済常任委員会

質疑 特殊詐欺対策電話装置等購入補助金の概要は。

答弁 振り込み詐欺などの被害を未然に防ぐため、特殊詐欺防止機能がついた電話装置等の購入費用の一部を助成する。助成金額は購入費の2分の1で、上限は5千円である。

質疑 労使会館の建て替え調査委託料の内容は。

答弁 施設全体の老朽化が進み、補強や建て替えが必要とされている。建て替えに向けて建物規模や配置の検討、全体的な構想などを決めていきたい。

建設水道常任委員会

質疑 河川クリーンアップパトロールの内容は。

答弁 倉渚地域の良好な河川景観を維持するために、地域住民の有償ボランティアによる河川のパトロールを実施する。



河川敷に残されたバーベキュー跡

質疑 新町駅エレベーター設置工事の進捗状況は。

答弁 台風19号の影響により延期となっていたが、3月には工事に着手できる見込みである。完成時期については、当初の目標どおり令和3年6月を厳守したい。

環境施設建設特別委員会

質疑 高浜クリーンセンターの土木建築設計が完了する時期は。

答弁 6月ごろにまとまる予定である。設計が終わり次第、工程や施設の概要を示していきたい。



建て替えが始まる
高浜クリーンセンター

質疑 温水プールを含めた余熱利用の考えは。

答弁 新しいクリーンセンターの完成後に現在のクリーンセンターを解体し、その跡地に余熱を使った温水プールを整備する予定である。

都市集客施設整備特別委員会

質疑 高崎芸術劇場の指定管理料の積算は。

答弁 劇場運営経費の約16億1千万円から、指定管理者収入の約3億5千万円を差し引いた、約12億6千万円を指定管理料としている。

質疑 ホテル招致調査の進捗状況は。

答弁 質の高いホテルの招致に向けて周知戦略の策定を行ってきた。新年度は、候補となるホテルを絞り込み、より具体的なアプローチやそのための調査や資料作成などを委託して、さらなる事業の進展を図りたい。

議案等審議結果

件 名		結 果
報告及び承認		
報告第1号	専決処分の報告	—
報告第2号	専決処分の報告	—
承認第1号	専決処分の承認(訴えの提起)	承認
議 案		
第1号	市道路線の廃止	可決
第2号	財産の取得(災害対策車)	可決
第3号	財産の取得(小学校教師用指導書)	可決
第4号	印鑑条例の一部改正	可決
第5号	体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の一部改正	可決
第6号	自転車駐車場条例の一部改正	可決
第7号	道路の構造の技術的基準を定める条例の一部改正	可決
第8号	令和元年度補正予算 令 一般会計(第8号) 和 国民健康保険事業特別会計(第3号) 元 介護保険特別会計(第4号) 年 後期高齢者医療特別会計(第1号) 度 農業集落排水事業特別会計(第1号) 補 駐車場事業特別会計(第1号) 正 水道事業会計(第3号) 算 公共下水道事業会計(第4号)	可決
第9号		可決
第10号		可決
第11号		可決
第12号		可決
第13号		可決
第14号		可決
第15号		可決
第16号	包括外部監査契約の締結	可決
第17号	駐車場事業特別会計条例の廃止	可決
第18号	無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決
第19号	幼保連携型認定こども園の学級の編成、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第20号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第21号	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決
第22号	老人休養ホームゆうすげ設置及び管理に関する条例の廃止	可決
第23号	旅館業法施行条例の一部改正	可決
第24号	公衆浴場法施行条例の一部改正	可決

件 名		結 果
第25号	食品衛生法施行条例の一部改正	可決
第26号	動物の愛護及び管理に関する条例の一部改正	可決
第27号	浄化槽の保守点検業者の登録に関する条例の一部改正	可決
第28号	市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	可決
第29号	建築基準法関係手数料条例の一部改正	可決
第30号	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料条例の一部改正	可決
第31号	市街化調整区域における開発行為の許可の基準に関する条例の一部改正	可決
第32号	水道事業、簡易水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	可決
第33号	令和元年度一般会計補正予算(第9号) 令 一般会計 和 国民健康保険事業特別会計 元 介護保険特別会計 年 牛伏ドリームセンター事業特別会計 度 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計 予 後期高齢者医療特別会計 算 農業集落排水事業特別会計 土地取得事業特別会計 水道事業会計 公共下水道事業会計	可決
第34号		可決
第35号		可決
第36号		可決
第37号		可決
第38号		可決
第39号		可決
第40号		可決
第41号		可決
第42号		可決
第43号	令和元年度一般会計補正予算(第9号)	可決
第44号	副市長の選任同意	同意
第45号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意	同意
第46号	人権擁護委員候補者の推薦	同意
第47号	人権擁護委員候補者の推薦	同意
請 願		
第1号	日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の採択	不採択(少)
第2号	加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求めること	不採択(少)
第3号	18歳以下の子供の均等割減免、資格証明書の交付をなくして、すべての高崎市民が安心して医療が受診できるよう国民健康保険制度の改善を求めること	不採択(少)

※不採択(少)表記以外は全会一致です。

賛否一覧表(上記議案等審議結果で賛否が分かれたものについて掲載しています。)

議員名 請願番号	会派名	新 風 会 23人																	市民クラブ 6人					公明党 5人					日本 共産党 2人		無所属						
	大河原吉明	青木和也	丸山芳典	樋口哲郎	清水明夫	後藤彰	片貝喜一郎	時田裕之	大竹隆一	根岸赴夫	飯塚邦広	渡邊幹治	長壁真樹	白石隆夫	柄沢高男	松本賢一	石川徹	後閑太一	後閑賢二	丸山和久	柴田正夫	柴田和正	田中治男	荒木征二	三井暢秀	中島輝男	林恒徳	堀口順	高橋美奈雄	中村さと美	小野聡子	新保克佳	逆瀬川義久	丸山覚	伊藤敦博	依田好明	谷川留美子
第1号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
第2号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
第3号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×

※賛成者は○、反対者は×としています。議長は採決に加わらないため、斜線としています。